

“整形外科の外来に関して…”

令和4年10月をもって、整形外科兼リハビリ科部長の岡 史朗先生が退職となりました。長年にわたり当院に貢献していただき、これからもご尽力いただくつもりでしたので、本当に残念でありませんが、ご本人のお考えとご希望を受け入れ、これからの医師のみならず一人としての更なる発展をお祈りするしかありません。

それに伴い、しばらく整形外科・人工関節センターの人員補充が出来ませんので、外来や手術待期間などでご迷惑をお掛けする事と思えます。特に、水曜日の午前診察は並列で行っていましたので、予約が取りにくくなると思えます。出来る範囲で対応したいと考えておりますので、ご理解をいただくと幸いです。



センター長の国内探訪記 “札幌の巻”

第14回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会が令和4年6月に札幌で行われました。新型コロナも落ち着いた時の学会でしたので、久しぶりに国内から多くの参加者が札幌に集まりました。6月の札幌なので良い気候を期待していましたが、残念ながら肌寒い小雨でしたが、観光ではないので仕方がないですね…。この数年は会場よりインターネットでの参加ドクターが多かったのですが今回は現地参加者が多く、やっと日常に戻りつつあるなあ～と混雑が少し嬉しかったです。

札幌では現地の知人の先生や昔一緒に働いていた病院の先生方とお鮭やジンギスカンを食べに行きました。ちょっと密でしたが、全員ワクチン3回か感染済(業務関連感染)だったのでお許しを…。

次回は良い天気札幌&北海道を遊びて来たいなあ～！と心から思った久しぶりの札幌訪問でした。



この新聞の名称「ぶらな」とは、仏教の元言語となるサンスクリット語で“空気”や“清浄な気”を示す言葉です。我々は、関節や脊椎疾患に負けずに積極的に人生を楽しんでいきたい！と考えている“強い気を持っている方々”を応援する為に、色々な形で情報を発信していこうと考えています。

こんな情報が欲しい、こんな事をして欲しいなど希望がありましたら、お気軽にお伝えください。

「ぶらな」

相原病院・人工関節センター新聞
第20号
令和4年10月吉日

“人生を積極的に生きる人を応援する医療情報誌”

相原病院・人工関節センターはこの12年間、国公立の基幹病院と同じレベルの専門医療を提供しております。手術件数は大病院と同等以上ですが、リハビリを含めた治療内容は個人に合わせたアットホームな雰囲気を維持しつつ、これからも更に最新で高度な医療を提供し続けることを常に心がけて診療にあたっております。

“新型コロナウイルス(COVID-19)に関して・続報”

「新型コロナウイルス(SARS-CoV2)」はオミクロン株に代ってから、感染力は更に強くなりましたが、悪性度は合併症を持っていない方には低くなりました。ウィルスは自分たちだけでは増えることが出来なくて、人間の細胞を使って増える必要があります。新種のウィルスはある程度毒性を下げて人間と共生しないと自分たちも滅びるので、共存していくのが一般的です。ただ、この数年による皆さんの感染対策は良かった面と不安な面もあります。マイナス面としては、今後のインフルエンザです。毎年、インフルエンザでもある程度の肺炎や脳症による死者が出ていました。今後は、それをどの程度恐れるか？が問題になると思っています。

感染者数や死亡者数は減っています。マスクに関しては徐々に外す方針が良いと考えますが、今まで通りに手洗いやうがいと体調不良時には無理に出掛けずに、自宅での安静などは引き続き心がけた方が良いでしょう。



新型コロナにより、当院でも外来制限や入院時の面会制限など、多くのご不便を皆様にお願ひ致しました。ただ、皆様のご理解とご協力のお陰で、スタッフも患者の皆様にも当院での大きなコロナのクラスターを防ぐことが出来たことを、スタッフ一同で感謝しております。

引き続きマスク着用や面会制限など患者の皆さんにご不便をお願ひしておりますが、我々も現時点で出来ることをやっていくしかないと考え、感染予防を取りながら地域医療のお役に立てるように日々努力をしておりますので、ご理解をお願ひ致します。

16 平和と公正を
すべての人に



近隣病院の
人工関節手術数
(R2,3年)

病院名	症例数
相原病院 (R3年)	228
(R2年)	213
箕面市立病院	70
市立豊中病院	139
市立池田病院	116
大阪医科大学病院	178
宝塚市立病院	79
済生会千里病院	65
済生会吹田病院	82
北野病院	74



医療法人 啓明会
相原病院
Provides the best medical service

患者様・関係者の皆様各位

いつもお世話になりありがとうございます。整形外科の岡です。
この度、2022年10月31日付で長年勤めてまいりました現職を退くことといたしました。改めて、何年ほど勤めていたものか自身の履歴を整理して考えてみますと、2004年の4月以来18年と7か月間という長きにわたって、当院に勤務させていただいたということになります。私の職歴の中ではもちろん最長の期間となります。その間、旧病院から現病院への移転など大幅な体制の変更があり、新職員の加入なども多く、苦労した思い出も多かったですが、当院の躍進の一端に加えていただいたことを感謝しております。

患者様におかれましては、私があまり長くない準備期間で退職を決めてしまいましたので、戸惑いや不安もあるのでは申し訳ない気持ちです。長年信頼して通院して下さった方々、人工関節などの手術で関わらせていただいた方々、医療には不確定な要素が多く、常にベストな提案ができていたとは思いますが、良い結果もそれ程でもない結果も、時として思いがけなく良くない結果も、温かい目で見守って下さったことを忘れません。

手術後の定期フォローで、年1回程度の通院の皆様、または長らくブランクがありこれから久々に来院されるであろう皆様、診察室で直接ご挨拶ができず申し訳ありません。長らく来られていないということは、きっと調子が良くて勝手に解釈・・・しているわけではありませんが、タイミングが合わずにご挨拶が叶わなかった皆様にも、この場をお借りして感謝の気持ちをお伝えしたいと思います、ありがとうございます。

現看護スタッフの皆様、過去に関わって下さった皆様、生来の怠け者気質の私を、大方優しく時に厳しく叱咤激励していただきましてありがとうございました。特に毎週月曜日の外来では朝イチから、しんどい、やめたい、とウンザリするほどの泣言戯言を巧みにスルーしていただき・・・でもそれはこれからも治らない気がします。理学療法士諸君には、仕事丸投げでも適切に対応していただき大変助かりました。自分の肩書はリハビリテーション部長でした、すっかり忘れて・・・。麻酔科・薬剤師・技師の先生方、事務の皆さん、看護助手さん、管理栄養士さん、清掃員の方々、医療器メーカーさん、実は当院が、私が知っている限り20年近く、大過なく病院業務を全うできているのは、皆様方の類まれなほどの献身性・倫理観に支えられているからだと思っています。これからもよろしく願いたします。

木村先生・会長・院長の前に自分がリタイアするとは不甲斐なく申し訳ありません。理事長は当院の職歴的には後輩wですが、旧病院の残党wも少なくなりましたね。相原君、どういわけ僕にお声がかかり、相原病院のお手伝いをする事になりましたが、実はあの時の誘いの電話ですが、ほとんど聞き取れていません。何だかハイハイと生返事しているうちに就職が決まり、とりあえず整形外科1人と気付いたときは、そう長く勤めることはないだろうと思っておりましたが、それが18年以上なので人生はわかりません。あと、実質全体の3/4以上の仕事を引き受けてもらっていた感じなので、申し訳ないけど有難かったです。

急な申し出で退職することになり、皆様方には多大なご迷惑をお掛けする事になりましたが、わがままを通ささせていただきまして、ありがとうございます。自分は当院でなければ医師でいられたかどうか不明なポンコツでしたが、まだまだこれからと本気で思っているポジティブポンコツとして、自分なりの光を目指して頑張っていこうと思っています。長い間、本当にありがとうございました。相原病院の益々の発展を祈念しております。



←旧病院時代、現存する最古の貴重な写真。小生と前技師長だけが今も。何を見ているのでしょうか・・・2004年の夏ですね。

→患者さんI.K.画伯による小生の油彩画3割増しぐらいですね！



-はじめまして！-

リハビリテーション科 理学療法士 別所 慶宗

はじめまして、令和4年9月からリハビリテーション科で理学療法士として勤務を始めました別所慶宗と申します。皆さんに顔を名前を憶えていただくために自己紹介いたします。

1997年8月30日 生まれで豊中市上津島に在住しています。家族は父親、母親、兄1人、姉2人の4人兄弟の末っ子で、趣味は筋トレ・魚釣りです。

理学療法士になった理由は、学生時代に箕面自由学園にてアメリカンフットボールをやっていました。しかし、怪我でアメフトの継続が困難となり、何か今後もスポーツ選手に関わることが出来ないかと考えました。そのことを現役の理学療法士である兄に相談したところ、理学療法士という職種に辿り着き、現在に至ります。

理学療法士としての経歴ですが、以前は兵庫県の尼崎市にある、はくほう会セントラル病院の回復期病棟にて中枢疾患や整形外科疾患などの様々な患者様のリハビリテーションを担当し、多くの経験と勉強をさせていただきました。ただ、理学療法士になった理由で説明させて頂いた通り、スポーツ疾患に興味があり、相原病院では術前、入院から術後のスポーツ復帰までかかわることが出来ること。また、前職から整形外科の関節疾患にも興味があり、アメフトをしていた箕面自由学園からも近く、大阪府内でも特に人工関節とスポーツ整形外科の手術件数が多い、相原病院を志望させて頂きました。

今後の目標

前職では、人工関節の患者様を担当させて頂く機会は少なかったです。そのため、初心に戻り再度勉強を行い当院にて活躍出来る理学療法士に成長していきたいと思っておりますので、皆様よろしく願いたします！

